



クローズアップ
CLOSE UP

年に一度の熱気が集う

10月8日・9日の2日間、前橋まつりで中心市街地は熱気の渦に。歩行者天国となる立川町通りは、法被をまとった大勢の人で埋め尽くされました。「せいや、せいや」と大きな声を響かせて、街中を巡る迫力の大人みこしには、来場者も圧倒されていました。



前橋で6年ぶりの熱戦

10月7日から10日まで、ヤマダグリーンドーム前橋で競輪のGIレース、寛仁親王牌を開催。同牌は発祥の地である本市での6年ぶりの開催です。表彰式には故寛仁親王の長女彬子さまがご臨席。熱戦を制してGIを初制覇した稲垣選手をたたえられました。



これからの時季、ささら味噌で作ったみそ汁は格別です

ささら味噌シリーズ

自然豊かな赤城山麓の前橋で、生産者が妥協を許さず、手間を惜しまず作った赤城の恵ブランド認証品。今回は「ささら味噌（米みそ）」、「ささら味噌（はと麦入りみそ）」を紹介いたします。

赤城の恵ブランド
ささら味噌シリーズ

vol. 40



関瀬下さん ☎027-285-3387



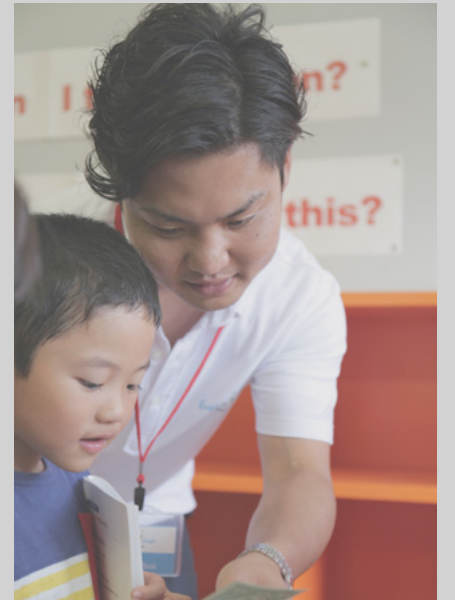
歴史空間装いも新たに

10月16日に総社歴史資料館で移転新築オープニングセレモニーを開催。県立歴史博物館長の右島和夫さんが総社古墳群について講演しました。歴史を生かした地域づくりの拠点となる同館。ジオラマやCG、タブレット端末などで同地区の歴史を伝えます。

地域とともに歩む英語村

いきいき
まえばし人

新井 大介さん・26歳
英語村スタッフ
小屋原町



「いずれは帰って来たいと思っていました。地元前橋での新しいスタートと、英語村の立ち上げが重なり、準備に気持ちが入りましたね」
都内の大学を卒業後、神奈川の輸入車販売店で働いていた。昨年9月にUターン就職し、英語村（関連記事6ページ）のオープニングスタッフに。

「開校セレモニーには嶺小の卒業生も多数来てくれて、温かく迎えてくれました。ありがたいです。ハロウィーンやイースター祭りなど、英語村での外国文化のイベントには、地域の人も招きます。私たちも芳賀ふるさとまつりに英語村として参加するんですよ」
外国人スタッフとの連携がここでの仕事の鍵となる。「日本語だけでなく、文化をよく理解していて、スムーズに仕事ができます」
ホームステイなど体験型プログラムで学ぶ英語村には、元気な子どもたちが集まる。元高校球児。自慢の体力で子どもたちと向き合っている。

る、県指定重要無形民俗文化財の獅子舞が名前の由来。無添加で豊かな自然環境の中で時間をかけて熟成させた深みのあるみそです。
粕川みそ加工組合では、約30年前から、粕川地区の特産品の大豆を利用した手作りみその講習会を開催。そこでの市販してほしいという声に応え、販売を始めました。それ以降、粕川地区自慢の味として地域に定着。子どもから高齢者まで、多くの人に親しまれています。
900gでささら味噌（米みそ）は594円、ささら味噌（はと麦入りみそ）は702円。「粕川特産物直売所」、「風の駅やげんじ」などで販売しています。